2026年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年２月12日

上 場 会 社 名　　ムトー精工株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　7927　　URL https://www.muto.co.jp
代　　表　　者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 田中　肇
問合せ先責任者　(役職名) 取締役財務担当　(氏名) 金子　貞夫　(TEL) 058(371)1100

配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：無
決算説明会開催の有無　：無

(百万円未満切捨て)

１．2026年３月期第３四半期の連結業績（2025年４月１日～2025年12月31日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年３月期第３四半期	22,589	5.5	1,966	12.8	2,345	8.0	1,649	18.1
2025年３月期第３四半期	21,416	6.4	1,742	9.8	2,172	8.8	1,396	△5.9

(注) 包括利益 2026年３月期第３四半期　2,919百万円(　30.5%) 2025年３月期第３四半期　2,237百万円(　8.3%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年３月期第３四半期	236.88	―
2025年３月期第３四半期	197.64	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年３月期第３四半期	34,088	21,373	59.5
2025年３月期	31,027	19,309	59.2

(参考) 自己資本 2026年３月期第３四半期　20,293百万円　2025年３月期　18,374百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年３月期	―	20.00	―	74.50	94.50
2026年３月期	―	30.00	―		
2026年３月期(予想)				71.00	101.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2026年３月期の連結業績予想（2025年４月１日～2026年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	△2.1	2,400	17.2	2,400	△7.0	1,750	15.8	251.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　―　社（社名）　　、除外　―　社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（注）詳細は、添付資料８ページ「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年３月期３Ｑ	7,739,548株	2025年３月期	7,739,548株
②　期末自己株式数	2026年３月期３Ｑ	793,487株	2025年３月期	711,155株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年３月期３Ｑ	6,964,161株	2025年３月期３Ｑ	7,066,860株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間における国内外の経済は、日本においては雇用環境の改善や訪日観光客の増加による消費の回復が見られるなど、経済活動の活性化が進んでおります。一方、米国の保護主義的な貿易政策や物価高の継続など、企業活動、国民生活に大きな懸念材料があり、先行き不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く業界におきましては、家電分野では、デジタルカメラカテゴリーにおいて付加価値の高いミラーレスカメラの需要が好調で、当社ではタイでデジタルカメラ部品の受注が増加を続けております。自動車関連部品では、米国の関税政策の動向により先行きに不透明感があるものの、得意先からの受注は回復傾向にあります。プリンター部品におきましては、得意先からの受注が堅調に推移しております。電子ペン部品では、ペーパーレス化の導入拡大などを背景に、一定の受注を維持しております。医療機器関連では、高齢化社会を背景とした医療ニーズの高まりに伴い、得意先から安定的に受注を獲得しております。

その結果、当第３四半期連結累計期間における業績は、売上高は225億８千９百万円と前年同四半期と比べ11億７千３百万円(5.5%)の増収、省人化・省力化を図り、固定費をはじめとした経費削減に努めたことにより、営業利益は19億６千６百万円と前年同四半期と比べ２億２千３百万円(12.8%)の増益、経常利益は23億４千５百万円と前年同四半期と比べ１億７千２百万円(8.0%)の増益、前年度に計上した関係会社株式売却損１億４千７百万円が無くなったことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億４千９百万円と前年同四半期と比べ２億５千２百万円(18.1%)の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度において精密プレス部品事業に分類しておりましたタチバナ精機株式会社の全株式を譲渡し、連結の範囲から除外したことに伴い、当第１四半期連結会計期間より精密プレス部品事業を当社グループの報告セグメントから除外しております。

① プラスチック成形事業

当セグメントにおきましては、主にデジタルカメラ部品や自動車関連部品、金型における受注増加に伴い、プラスチック成形事業全体の売上高は増加いたしました。また、省人化・省力化を図り経費削減に努めたことにより、増益となりました。その結果、当第３四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて219億８千１百万円と前年同四半期と比べ13億８千８百万円(6.7%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は16億２千８百万円と前年同四半期と比べ４千３百万円(2.7%)の増益となりました。

② プリント基板事業

当セグメントにおきましては、設計部門では、セラミック基板の得意先からの受注減少に伴い、減収となりました。一方、検査部門におきましては、自動車向けの各種センサーなどのセラミック基板の検査が好調で、大幅な増収となりました。その結果、当第３四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて６億１千４百万円と前年同四半期と比べ２億２千７百万円(59.0%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は３億３千７百万円と前年同四半期と比べ１億７千５百万円(108.6%)の増益となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

当第３四半期連結会計期間末の財政状態は、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ26億４千３百万円増加し、225億５千３百万円となりました。現金及び預金が９億２千６百万円、受取手形及び売掛金が８億９百万円、商品及び製品が２億７千７百万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ４億１千７百万円増加し、115億３千４百万円となりました。有形固定資産が１億８千９百万円、投資有価証券が１億７千２百万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ30億６千万円増加し、340億８千８百万円となりました。

また、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ13億２千７百万円増加し、94億円となりました。支払手形及び買掛金が８億８千２百万円、短期借入金が３億７千８百万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ３億２千９百万円減少し、33億１千４百万円となりました。長期借入金が２億９千９百万円減少したことなどが主な要因です。

この結果、負債の部は、前連結会計年度末に比べ９億９千７百万円増加し、127億１千４百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ20億６千３百万円増加し、213億７千３百万円となりました。利益剰余金が９億１千７百万円、為替換算調整勘定が９億８千万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年３月期の連結業績予想につきましては、2025年11月13日に公表いたしました「2026年３月期第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)」の内容より変更はありません。

当期の見通しにつきましては、国内外で景気の回復が維持されることが期待されるものの、米国の保護主義的な貿易政策による世界経済の減速、物価高の維持による消費意欲の減少など景気の下振れも懸念され、不確実性の高い経営環境が続くことが見込まれます。また、今後の為替相場の動向は、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

このような状況の中、当社グループは、柔軟な生産体制を構築し事業環境の変化に備えると同時に、顧客各社の動向を注視し着実な受注活動を行い、世界情勢による様々なリスクに対応していく所存であります。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって変動する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,367,739	11,294,577
受取手形及び売掛金	4,742,480	5,552,123
電子記録債権	450,734	579,568
商品及び製品	824,731	1,102,441
仕掛品	1,182,021	1,380,024
原材料及び貯蔵品	1,712,002	1,928,401
未収入金	94,863	130,088
その他	536,239	587,095
貸倒引当金	△645	△965
流動資産合計	19,910,168	22,553,356
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,614,798	4,571,848
機械装置及び運搬具（純額）	2,665,253	2,809,657
土地	2,055,887	2,097,244
リース資産（純額）	275,928	285,750
建設仮勘定	100,244	189,516
その他（純額）	581,043	528,435
有形固定資産合計	10,293,155	10,482,453
無形固定資産	236,810	242,839
投資その他の資産		
投資有価証券	303,414	476,220
繰延税金資産	107,671	120,628
その他	175,952	212,645
貸倒引当金	△125	△125
投資その他の資産合計	586,914	809,368
固定資産合計	11,116,881	11,534,661
資産合計	31,027,049	34,088,017

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,842,258	2,724,945
電子記録債務	267,539	311,519
短期借入金	3,370,000	3,748,500
1年内返済予定の長期借入金	966,620	994,984
未払法人税等	244,920	417,574
賞与引当金	257,450	204,657
関係会社整理損失引当金	－	41,696
その他	1,124,425	956,658
流動負債合計	8,073,214	9,400,536
固定負債		
長期借入金	2,316,694	2,016,708
長期未払金	156,004	120,185
繰延税金負債	359,321	475,196
役員退職慰労引当金	26,628	29,103
退職給付に係る負債	358,872	386,365
関係会社整理損失引当金	152,315	－
その他	274,293	286,725
固定負債合計	3,644,129	3,314,283
負債合計	11,717,344	12,714,820
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,188,960	2,188,960
資本剰余金	2,253,246	2,255,557
利益剰余金	11,905,044	12,822,690
自己株式	△592,470	△718,606
株主資本合計	15,754,780	16,548,601
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	169,668	314,121
為替換算調整勘定	2,450,212	3,430,636
その他の包括利益累計額合計	2,619,880	3,744,758
非支配株主持分	935,044	1,079,837
純資産合計	19,309,704	21,373,196
負債純資産合計	31,027,049	34,088,017

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2024年４月１日 至 2024年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年12月31日）
売上高	21,416,643	22,589,955
売上原価	16,973,891	17,859,462
売上総利益	4,442,751	4,730,493
販売費及び一般管理費	2,700,025	2,763,896
営業利益	1,742,725	1,966,597
営業外収益		
受取利息	120,724	120,325
受取配当金	8,641	12,575
為替差益	302,406	254,193
助成金収入	22,759	21,573
その他	1,244	22,276
営業外収益合計	455,776	430,944
営業外費用		
支払利息	25,438	50,404
その他	680	2,012
営業外費用合計	26,119	52,417
経常利益	2,172,383	2,345,124
特別利益		
固定資産売却益	16,226	11,323
関係会社整理損失引当金戻入額	1,581	－
補助金収入	20,066	－
保険金収入	18,839	－
特別利益合計	56,714	11,323
特別損失		
固定資産売却損	9,314	12,290
固定資産除却損	4,062	5,022
固定資産圧縮損	20,797	－
関係会社株式売却損	147,136	－
特別損失合計	181,311	17,312
税金等調整前四半期純利益	2,047,786	2,339,135
法人税等	549,679	629,464
四半期純利益	1,498,106	1,709,671
非支配株主に帰属する四半期純利益	101,392	60,027
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,396,713	1,649,643

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2024年４月１日 至 2024年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年12月31日）
四半期純利益	1,498,106	1,709,671
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,320	144,452
為替換算調整勘定	745,281	1,065,219
その他の包括利益合計	738,961	1,209,672
四半期包括利益	2,237,068	2,919,343
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,094,868	2,774,520
非支配株主に係る四半期包括利益	142,200	144,823

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用の計算

海外連結子会社の税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等の注記)

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　2024年４月１日　至　2024年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	プラスチック成形事業	精密プレス部品事業	プリント基板事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,582,633	447,296	386,713	21,416,643	－	21,416,643
セグメント間の内部売上高又は振替高	9,963	51,318	－	61,282	△61,282	－
計	20,592,597	498,615	386,713	21,477,926	△61,282	21,416,643
セグメント利益又は損失(△)	1,585,259	△4,441	161,907	1,742,725	－	1,742,725

(注) 1.セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。
2.「精密プレス部品事業」に分類しておりましたタチバナ精機株式会社については、前第３四半期連結会計期間において全株式を譲渡したため、連結の範囲から除外しております。売上高、セグメント損失の金額については、連結除外日までの実績を含めております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　2025年４月１日　至　2025年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	プラスチック成形事業	プリント基板事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,975,273	614,682	22,589,955	－	22,589,955
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,321	－	6,321	△6,321	－
計	21,981,594	614,682	22,596,277	△6,321	22,589,955
セグメント利益	1,628,812	337,785	1,966,597	－	1,966,597

(注)セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において「精密プレス部品事業」に分類しておりましたタチバナ精機株式会社の全株式を譲渡し、連結の範囲から除外したことに伴い、当第１四半期連結会計期間より「精密プレス部品事業」を当社グループの報告セグメントから除外しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 (自　2024年４月１日 至　2024年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自　2025年４月１日 至　2025年12月31日)
減価償却費	963,475千円	981,472千円